

医療系女子大学生の進路意思決定と親子の信頼感との関連

著者	破魔 幸枝, 吉田 幸恵, 八木 孝和, 中村 美紀, 水村 容子
雑誌名	神戸常盤大学紀要. 別冊
号	16
ページ	25-25
発行年	2023-03-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1492/00001188/

2-P-21

医療系女子大学生の進路意思決定と親子の信頼感との関連

破魔 幸枝¹⁾吉田 幸恵²⁾ 八木 孝和²⁾ 中村 美紀¹⁾ 水村 容子²⁾

目的: 高校時代の親子関係が大学生のキャリア発達に影響していることから、幼児期に形成される親子の信頼感も影響を及ぼしているのではないかと推測される。学生のキャリアコンピテンシーの検討を得るためには、職業選択の問題点のみに注視するのではなく、学生の本質に注目すべきであると考えた。そのため、精神的な成長によるキャリアコンピテンシーに対する意識変化が生じると仮定し、要因を検討することを目的とした。

方法: 本学口腔保健学科学生 2020～2021年度 1,2,3年 300名程度を対象に、心理尺度の『心理測定尺度集VI』、進路意思決定の困難さ尺度（若松, 2001）、親子間の信頼感に関する尺度（酒井, 2005）を用いて、質問紙調査を行った。分析は、学年ごとに2尺度の分析、2年間の継続調査を行った。学生においては、発達・学習、環境の変化に注視し、比較検討を行った。

結果と考察: 親子の信頼感は、学年による差の特徴はなく、3学年とも父親より母親への信頼感が高いことから、女子大学生にとって母親の影響が強く考えられる。進路意思決定の困難では、学年に応じて意識の変化がみられると仮定していたが、有意差がなく、進路に対する動機づけが未熟なのではないかと考察する。

将来への意識の成長、さらに保護者との関係性による影響も視野にいたした継続研究が必要と考えられ、入学時から成長を支えるキャリア教育の必然性を明確にした。

1) 神戸常盤大学短期大学部口腔保健学科 2) 保健科学部口腔保健学科